

市議会報告

いわさわ愛だより 2026夏号



ごあいさつ

日頃より、私いわさわ愛の活動に、ご理解とご協力いただきまして、ありがとうございます。2026年3月25日に開かれた上越地域の医療体制を県や3市、医療関係者で検討する上越地域医療構想調整会議では、病床利用率が低くなっている県立の妙高病院は病床規模を見直すと方向性が示されました。市内では、クリニック等も減っています。この地で暮らし続けるために無くてはならない医療について、我が事として考えてみませんか。今回は令和8年3月議会の一般質問の一部を中心に報告させていただきます。

妙高市議会議員 岩澤 愛

身体の不自由なкатаが、投票しやすい環境づくりについて

高齢者や、身体の不自由なкатаの中には、投票所へ行くことが難しい人もいます。病院等の指定施設で行う不在者投票の制度もありますが、利用できる方は限られています。そのため、日常生活で介助が必要なкатаの中には、投票に行きたい思いがあっても、行くことをあきらめている人もいます。身体が不自由なкатаも安心して投票できる環境づくりを進め、自分の生きたい社会を選べるのが大事だと考えます。

Q 不在者投票の制度を利用できない施設利用者が気軽に投票できるよう、施設もしくは施設敷地内で移動期日前投票ができるようにしては、どうか。

A 投票機会の確保と言う観点から、一定の意義があるものと考えている。しかし、移動期日前投票を新たに開設する為には、選挙管理委員会の職員体制の確保に加え、開設場所となる施設側の受け入れ体制や希望の有無など、総合的に 勘案しながら検討していく必要がある。

Q 市が所有しているリフト付き車両を活用して、身体の不自由なкатаも投票所に行けるようにしてはどうか。

A ふれあい号を活用した投票所への送迎については、選挙における公平性の観点から、特定の有権者に対して市が個別に交通手段を提供する事は是非、対象者の範囲、運用方法の整備など、解決すべき課題もある。現時点においては、直ちに実施することは難しい状況。引き続き、他自治体の事例などを参考にしながら投票しやすい環境づくりについて、研究していく。

Q 身体の不自由なкатаが、より安心して投票できるように投票支援カードの使用や受けられる支援の周知を行ってはいかがか。

A 自書が困難なкатаに対する代理投票や、点字投票の他、必要に応じて職員が付き添うなどの支援を行っている。投票支援カードについては、投票者と事務従事者双方にとって、円滑な投票が可能となることから、5月に執行予定の県知事選挙から導入できるよう、準備を進める。併せて、市報やホームページをはじめ、選挙時のお知らせを通じて、投票支援カードを活用方法や受けられる支援内容について周知啓発を行う。



5月31日投開票の新潟県知事選挙では、新たに投票支援カードを導入するなど障がいのある方が支障なく投票できるよう取り組みがなされました。

不登校及び、不登校傾向の保護者支援について

不登校及び、不登校傾向のある児童生徒の保護者は、学校等への送迎や就労への影響、こどもへの接し方の悩み等の不安や負担、葛藤があると聞きます。一人ひとりの児童生徒が学びを楽しめるよう保護者支援の充実を図るべきと考えます。

Q 民間のフリースクールを含めた支援チームを作り、広いサポート体制を整備すべきではないか

A 令和7年12月末時点での市内の学校で、不登校になっている児童、生徒は55人。不登校傾向にある児童生徒は20人となっている。市においては、こども家庭センターを中心的窓口として、保護者の相談に応じている他、専門職が学校の情報交換会に出席し情報共有を図るなど、個別最適な対応や、支援に向けて取り組んでいる。また、民間のフリースクールについても、教育委員会の指導主事が事業所を訪問し、児童生徒の様子や学校の状況を把握するなど、連携を図っている。より、適切な支援につながるよう、引き続き支援体制の充実に努める。

Q 支援とつながっていない保護者でも、必要な情報を取得しやすくなるよう、支援に関するリーフレットの作成や、市ホームページへの情報掲載などに取り組むべきではないか

A 相談窓口を身近に感じていただけるよう、学校を通じて児童生徒、保護者に対して、チラシを配布し周知を図っている。今後については、必要な情報が得やすくなるよう、リーフレットの作成や、ホームページの情報提供を行うほか引き続き学校や関係機関と連携し、保護者や児童生徒に寄り添った対応に努める。

妙高市
不登校サポート
相談窓口のご案内



不登校のこどもたちの居場所と学びの選択肢

学校に通うことが難しいこどもたちにとって、安心して過ごせる場所や学びの選択肢は少しずつ広がっています。市では、フリースクール等利用されるかたが、支援補助金を受け取れる制度もあります。今回は市内外で活動されている民間のフリースクールやコミュニティの一部をご紹介します。他にも活動されているかたがいらっしゃいましたら、情報提供をお願いします。

・おうちフリースクールはなはな



妙高市美守にある学校に行きづらさを感じるこどもたちのための居場所です。将来にその人らしく輝けるように、こども時代の「好きな事」は将来の「強みの種」になると考えます。自分らしく輝くために、今ある自分の「好き」と「やりたい」にとことん向き合ってほしいとの思いでこども達をサポートしています。

Instagram

お問い合わせ

- ・InstagramのDM
- ・メール ouchi8787@gmail.com



・上越妙高フリースクールけんしん



「自由登校」という新しいスタイルで個性を大切にしながら、やりたいことや得意を思いっきり伸ばしていけるフリースクール。安心できる居場所です。一人ひとりに寄り添い、AI教材を使って主体性と自信を身につけ自分らしい人生を歩むための力を育みます。学校と連携して出席・成績認定が取れます。カフェランチも食べられます！

ホームページ

お問合せ

- ・電話 070 - 8955 - 2211 (宮尾)



・トーキョーコーヒー上越

- ・大人もこどもも、みんなでワイワイわちゃわちゃと楽しく過ごせる場所を作っていきたい！そんな思いでトーキョーコーヒーを上越で開催しています！



【トーキョーコーヒー (TKCF) とは・・・】
登校拒否のアナグラム (ことばあそび) 全国で35万人の学校に行かない選択をしたこども達のアクションを受けて『問題はこどもの不登校ではなく、大人の無理解』という視点から教育を考え、学ぶ、そして子育てや教育、ひいては本当に豊かな社会について大人が考え対話を生むためのムーブメント！大人が楽しんでいる空間こそがこども達にとって最高の居場所！

Instagram

お問合せ

- ・InstagramのDM
- ・メール 1021gantomomo@gmail.com
- ・がんちゃん (ふくだともみ)



・社会福祉法人 上越市社会福祉協議会 自由の学び舎 やすづか学園



小学4年から中学3年生を対象とした不登校生のためのフリースクール。寮生コースと日帰りコースがあります。自然体験や地域との交流活動に取り組みます。1人ひとりの理解や目標に合わせて個別最適な学習に取り組めるよう支援します。

ホームページ

お問い合わせ・やすづか学園で検索するとオンライン説明会のページがあるので、申し込みフォームに入力をお願いします。



保護者の声

不登校、登校拒否について親がどう対応するか、ずっと悩みました。こどもの権利を考え優先させた時、ストンツとイライラしていた気持ちが楽になったのを覚えています。生きていくだけで有難い。人生の中で一時。親も子もお互い長く辛い時間を感じるでしょう。でもその状況をお互い認めるとトンネルの出口が見えてくる。フリースクールの情報が少なすぎます。情報提示があれば Refusal from school に悩む親子にとって選択肢の幅は広がるでしょう。安塚学園で寮生活の選択をした我が子は光に向かって突き進んで、笑顔を取り戻しました。今を生きる子を信じる認める事が大事なのだと肝に銘じて。(Aさんより)

私の所感

知ることや誰かに相談することで不安が減るのではないのでしょうか。学校以外にも多様な学びや居場所があることを知っていただくことが大切だと感じています。今後もみなさまの声を大切にしながら、支援の在り方を考えて参ります。

トピック



4/11、12に、街なかにぎわい推進委員会にぎわいの風主催の、経塚山さくらまつりが、晴天のなか開催されました。屋台村やステージイベントが催され、大変にぎわっていました。私は、あらいばやし保存会として出演させていただきました。

お知らせ

【上越地域医療再編】



上越医療圏における医療再編の全体像や再編までのロードマップなどについて、市民の皆様への説明会が7/24、25妙高市内3カ所であります。ご都合のつくかたはぜひ県の説明を直接聞いてみませんか。

発行責任者

妙高市議会議員 岩澤 愛

妙高市末広町 13 - 5 - 11

電話 : 080 - 9210 - 2103

メール : aiiwasawa.myoko@gmail.com

ホームページ

